

平成 25 年度最終の子ども会議を 3 月 15 日に開きました。子ども会議は、条例に位置付けられた会議で、市に意見を表明することができる会議です。

そこで、今年度の締めくくりとして、向井市長に泉南市の公園について感じていること、考えたことを伝えました。



まず、児童公園が記載されている地図を見ながら、今の公園について感じていることを話しました。「ブランコとか、すべりだいとか、いろんなところにらくがきがあって困る」「ゆらゆらするゴミ箱からゴミがこぼれている」「大きい子がすべりだいのすべるところに座っているから、使いにくい」「ボール遊びが禁止されている」「一人でトイレに行きにくい」などの意見が出ました。



次に、こんな公園が欲しいという意見を、それぞれが発言しました。「安全で安心して使える」「ベンチがある」「雨宿りができる」「遊具がある」「ボール遊びをすること、小さい子どもが遊ぶところが分かれている」「サッカーゴールがある」「バスケットボールができる」「ゴミがない」「トイレがきれいである」「転んだ時に痛く

ないようなクッション性のある下地がある」「緑がある」「コンクリート土管がある」「ぶらさがって移動できる遊具がある」「時計がある」など、たくさんの意見が次から次へと出てきました。しかし、子どもたちもすべての要望がかなえられるとは考えておらず、絞り込んだところ「広くてボール遊びができる公園」でまとまりました。

向井市長からは、公園には位置づけの違いがあって、公園の種類によってトイレがあったりなかったり、遊歩道があったりなかったりと内容が異なってくるのだと教えていただきました。また、らくがきや清掃などできることにはとりくみ、子どもたちの意見を公園の整備に活かしていければとのお返事をいただきました。



子ども会議の委員は、自分たちの考えたことを伝えることができ、とても満足していました。ひとつでもふたつでも、実現ができればうれしいと思います。また、自分たちには何ができるかも考えて行こうという話し合いました。



【問合せ】 泉南市子どもの権利に関する条例事務局
(人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306 /
e-mail:jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp)